



羽田空港どう変わる!?

東京オリンピックを控え、今後の日本の成長を図るには都市機能の拡充は必須の条件であります。しかし世界の主要都市の空港と比較すると、羽田空港と成田空港を合わせても国際線の就航先が少なく、香港、シンガポール、ソウルなどアジアの主要都市よりも就航先・利用客数ともに下回っている状況です。そこで国土交通省は東京の国際競争力強化を図るべく新飛行経路案を示し、羽田空港機能強化に向けて住民へ説明を行っております。

しかしながら大田区民の区民感情として、戦後GHQによる48時間の強制退去から始まり、航空機騒音の対策など空港という施設の特殊性から必ずしも良い影響ばかりをもたらす施設では無いという感情が根底にある事を考えれば、今回示された羽田空港の機能強化については何がどの様になるのか、正確な情報提供と得られた情報を的確に判断する必要があると考えます。

そこで、羽田空港の新飛行ルート案とはどのような案か現行ルートと比較してみます。

羽田空港の新飛行ルート案はどう変わる?

南風時

現在の飛行ルート

好天時



悪天時



新飛行ルート案

好天時・悪天時 15:00~19:00



マスコミなどで取り上げられ議論となっているルート案は南風時の15時~19時のルートです。

大田区に影響が想定される範囲を拡大しました。

北風時

現在の飛行ルート



新飛行ルート案

(7:00~11:30, 15:00~19:00)



平成29年第1回一般質問にて質疑

過去の騒音被害の体験をされた地域では、その当時の情景を思い起こし、あの騒音にまた悩まされるのかと不安を覚えている方々の声を耳にしております。

不安を覚えた方々に新飛行ルートがどこを飛行するのか、騒音値が現在と比較してどの程度のものと想定されているのか、落下物の危険とはどの程度のリスクと把握しているのかなどを伺うと、「それは良くわからないけど、とにかく危なくなるんじゃないか…」という危惧を覚えている方が大勢を占めている状況でした。そこで、機能強化に関する情報提供に関連していくつか伺います。

Q1 落下物のリスクはどの程度か？過去10年間に都内での事例、または大田区での事例はあるのかお伺い致します。

A1. 国によりますと、羽田空港の着陸経路下となる江戸川区において、過去10年間に落下物等の被害は発生しておりません。また、大田区での事例も発生しておりません。

Q2 大気汚染について人体への直接的な影響を及ぼす危険性が高まると心配されている方々もいるが、機能強化によりどのような影響が想定されているかお伺い致します。

A2. 区内の大気汚染を測定するため、区内8ヶ所で常時監視を行っており、光化学オキシダントは環境基準を達成できておりませんが、それ以外の項目はおおむね環境基準を達成しております。

Q3 着陸の際に「左右それぞれ5マイル(16kmの幅)を飛行できる」ので「大田区上空のどこでも飛行できる」と心配されている方もいるが、それではそもそも着陸ができないと考えます。事実関係を伺います。

A3. 現在の飛行機は、人工衛星による位置測定の最新機器等を搭載しており、これら最新の機器を活用し、地上からの電波による誘導や管制塔からの指示などをあわせて、精度の高い離着陸を行っています。離発着する飛行機にも国内線、国際線を問わず国の検査に合格した最新の機器による誤差の少ない飛行方法が求められており、現行のルートはもちろん、新飛行ルートにおいても、16kmの幅を飛行する余地は全くないことを国に確認しております。

便益性とリスクを併せ持つという考え方で物事を図ることが出来なければ飛行機のみならず車や電車、船舶なども全て危険で迷惑な乗り物という判断になってしまいます。

冒頭にも触れましたがグローバルな経済活動が一般的になりつつある現代においては私達だけがこの環境を拒んで生活をする事は極めて困難であります。

例えば個人的にこんな危険で人に害悪を及ぼす乗り物には絶対に乗らないという意見をお持ちの方がいらっしゃるならばその意見は尊重いたしますが、私は大田区議会議員としてこれからの大田区や東京、そして日本の行く末を考え、空港を抱える大田区だからこそ果たせる役割と使命があると考えております。

但し、機能強化による環境被害の想定を物理的な根拠を示し、論理的に説明できる場合は大田区を通じてしっかりと国に対し実情を訴えて参ります。

区民のみなさんのご意見・ご要望をぜひともお聞かせ下さい。

ゆもと良太郎 プロフィール 41歳3男の父

昭和51年5月10日	大田区大森生まれ(A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。大学在学中より都議会議員秘書となる
平成15年4月	大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位
平成19年4月	大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)
平成22年6月	自由民主党離党
平成27年4月	大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。65候補者中7位、完全無所属ではただ一人の当選者。

ゆもと良太郎
事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10
TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482
<http://www.yumoryo-otacity.jp> info@yumoryo-otacity.jp